



...れていた
...ルの間に乱暴に挿れながら...
...スで感じはじめたのだ...
...女はついに初めての絶頂に達...

オチマン。

OCHIMAN!

青葉の墮ちる頃

始まりは……

俺、高木秋人とマンガ家仲間である蒼樹紅さんが

“マンガ家同志での意見交換”という名目で

二人だけの秘密の時間を共有するようになったのが

そもそものキッカケだった……

彼女との話し合いはとても有意義だった

俺達はすぐに打ち解け
連絡も頻繁に取り合うようになる
話が弾み一夜を語り明かす日もあった

だけどいつの頃からか、本来の目的よりも
彼女と話す時間そのものを楽しみに
してしまっている自分に気付く……





それは蒼樹さんも同じだったようで

お互いに異性として意識しあうようになるまで
そう時間を必要としなかった……

鈍感な俺にも蒼樹さんの好意は伝わってきたし

俺も恋人がいるにも係わらず蒼樹さんに
友情以上のものを感じるようになっていた



男として彼女を自分のモノにしたい…

そんな欲望が自分の中でどんどん押さえ切れないものになっていく…

その頃の俺は、恋人に蒼樹さんとの関係を不審がられ
折り合いが悪くなっていた

だから…という訳でもないが
俺は持て余した性欲の処理でもしようとネットを徘徊する……

そんな時だ…偶然に『それ』を見つけたのは…

とあるアダルトサイト…

そのサイトを見た瞬間、俺は全身から血の気が引いていくのを感じた

無理矢理に男にレイプされる女性、

その経過を淡々と綴ったどうとことのない記事…

いつもなら読み飛ばしてしまっていたであろうその記事…その写真……

しかし俺の意識は掲載された写真に写っている女性に釘付けになる…

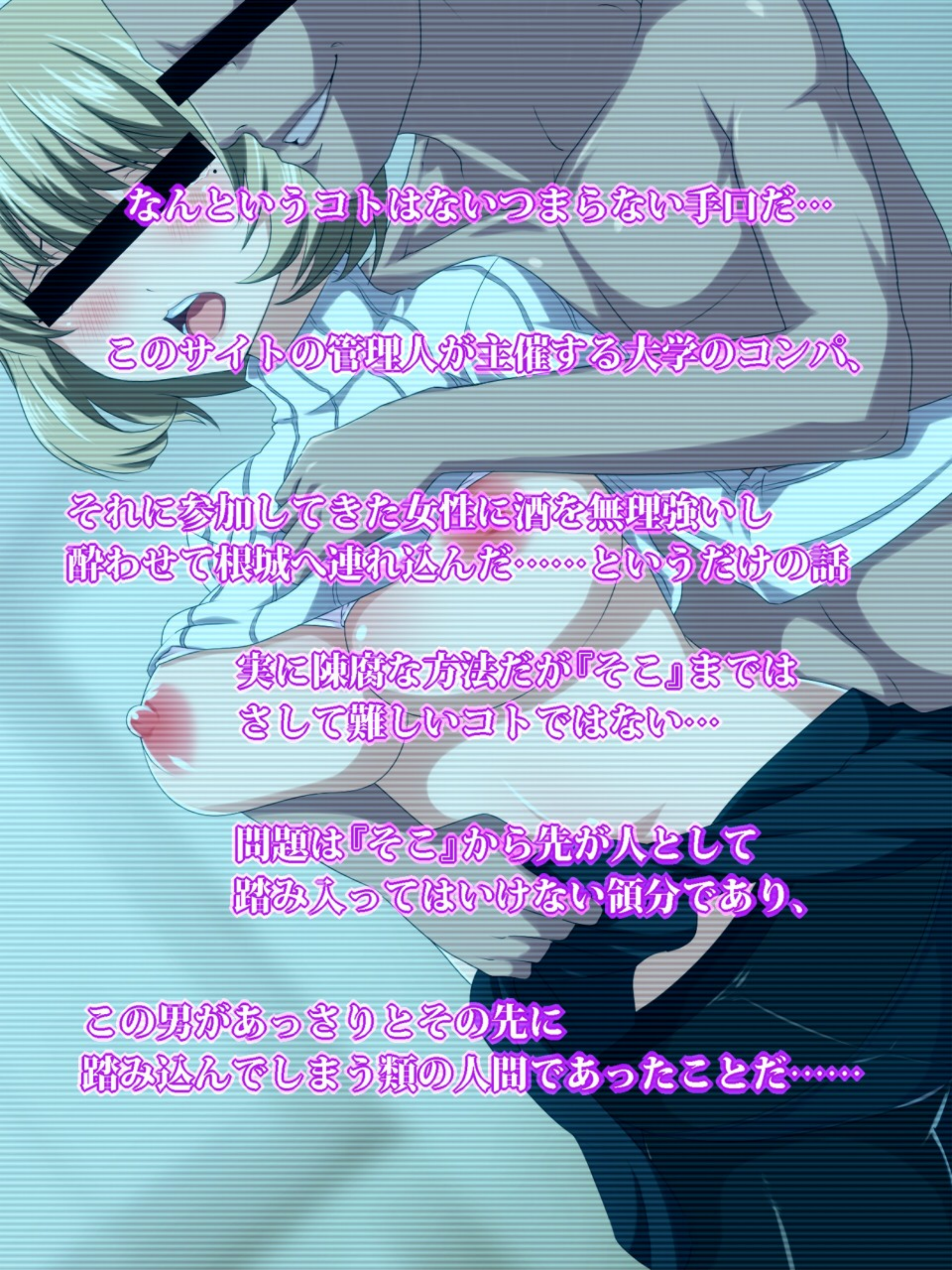
目隠しが入り、画質も鮮明とは言えない写真…

しかしそれでも誰なのか一目でわかってしまう程に俺はその女性を知っていた…

外見…プロフィール……

そしてイニシャル「Y・A」は“彼女”の本名と一致している……

その女性は……蒼樹さんとあまりに似すぎていた……



なんというコトはないつまらない手口だ…

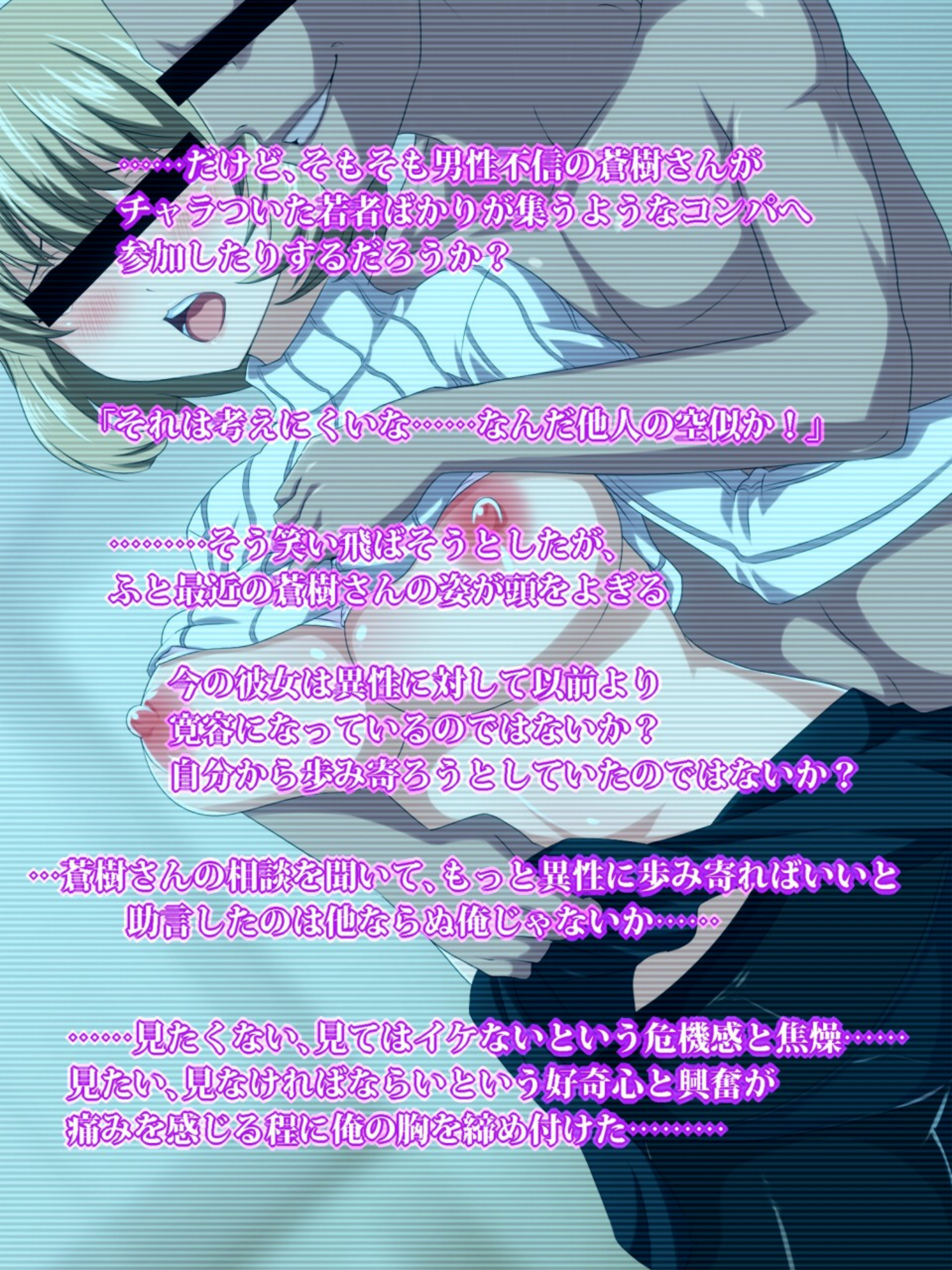
このサイトの管理人が主催する大学のコンパ、

それに参加してきた女性に酒を無理強いし
酔わせて根城へ連れ込んだ……というだけの話

実に陳腐な方法だが『そこ』までは
さして難しいコトではない…

問題は『そこ』から先が人として
踏み入ってはいけない領分であり、

この男があっさりとその先に
踏み込んでしまう類の人間であったことだ……



……だけど、そもそも男性不信の蒼樹さんが
チャラついた若者ばかりが集うようなコンパへ
参加したりするだろうか？

「それは考えにくいな……なんだ他人の空似か！」

……そう笑い飛ばそうとしたが、
ふと最近の蒼樹さんの姿が頭をよぎる

今の彼女は異性に対して以前より
寛容になっているのではないか？
自分から歩み寄ろうとしていたのではないか？

…蒼樹さんの相談を聞いて、もっと異性に歩み寄ればいいと
助言したのは他ならぬ俺じゃないか……

……見たくない、見てはイケないという危機感と焦燥……
見たい、見なければならぬという好奇心と興奮が
痛みを感じる程に俺の胸を締め付けた……

なッ…なにをするんですか!?

こんな…こんな事をして


許されるとても…?!

無理矢理こんな…ッ
最低です!

これは…

は、犯罪行為ですよ!!

やめてください!!



彼女の必死の抵抗もむなしく
男の腕力の前に組み敷かれ自由を奪われる

無残に引き裂かれるパンティストッキング、恐らく下着越しですら
異性に見せた事のないであろう恥丘があらわになる

あまりに想定外の状況のせいか怪いパニックを起こし
拒絶の手も萎縮し空回る

なおも続く男の暴行……
そして蒼樹さんは恐怖のあまり……

おやっ…

あああああああああああああッ!!!

イヤッ!イヤッ!!

やめッ…て…ください…!!

離して!!み、見ないで!!



えっ…濡れ…？何を言っ…

！

ふあ…え…そん…な…
まさか…

ド
ン
ッ
ッ
ッ

…アツ…アツ…

ダメ！ダメエエエ！！



男の目の前で失禁するという
醜態をさらしてしまったことで
彼女の精神はさらに追い詰められてしまう

男はその隙を見逃さず、
畳み掛けるように強気に脅迫する

すっかり余裕を失ってしまった
蒼樹さんは強要されるままに
たどたどしい手付きで忌み嫌う男の
イチモツを口に含むのだった…

ん……ぷはっ……

ぼ、暴力で脅してこんな事を
強制するなんて……

さっ……最低です!!



ううう……臭いし……

……気持ち悪い……

えっ?!

一週間も洗っていない!?

そんな不潔なものを
舐めさせられるなんて……

ムワァ

……どうして……私が……こんな……

ムワァ
ムワァ
ムワァ



!?

んっ??

…うぶっ…!!

…うええええ…

クク

こ…コレは…

せ、精子…?!

イヤあ…もう…

…許してください…

誰か…誰か助けて…

…助けて…高木さん…

ドク

クク



それは随分とあっけないものだった…


『蒼樹紅の処女貫通式』

ロクな前戯もなくマンコにねじ込まれるペニス…
苦痛に泣き叫ぶ彼女のヨトなどお構い無しに……

俺は不意にこの記事の日付を思い出し、頭の中が真っ白になる……

どアップで撮られた結合部の写真にはハッキリと
彼女の純潔の証が写っていた……

彼女は……ほんの一週間前にレイプされ処女を奪われたのだ……



男は二度の射精では飽き足らず
なおも彼女の身体を貪り続ける

休む間もなく続く陵辱に彼女はただ苦痛に喘ぎ
嗚咽を漏らす事しか出来ない

それでも「これ以上中出しするのだけは許して」
と懇願する彼女を無視し
男は何度も何度も膣内に精を注ぎ込む……

ま、まだ…続けるんですか?!

もうヤメて下さい!!
気は済んだでしょう!

!?

……まだまだこれからって……

……そんな……



あ……く……

いや……やだあ……

もうやめて下さい……!

え?! あッ……

待って……!?

グッ
グッ
グッ

アッ
アッ
アッ

アッ
アッ

また中で出す気じゃ……?!
もう中で出すのだけは
許してください!!

外に!! 外に!! 外に!!



!?!?
.....

!.....

やっ...あ
あッ!!

また中で...ッ!!
また...中でえ.....

ビクッ

ヒドい...中はダメなのに...

...どうして.....

ン
ン
ン

ン
ン
ン





狂ったように男は蒼樹さんを犯し続ける…

上から下から飽きることなく彼女の穴を突きまわす

しかし処女喪失の痛みを耐える彼女にも
徐々に変化が生まれていた

処女膜をブチ破られ、女性器をオナホルの様に乱暴に扱われながら…
彼女は…蒼樹さんは…強姦魔のペニスで感じはじめたのだ…

そして回では嫌がりながらも…彼女はついに初めての絶頂に達する……

はぁ…ん……

も…いい、いい加減に…して!!!

許さない……

私、絶対に貴方を

許しませんからッ!!

性欲を満たす為だけに
女性を襲うなんて…

最低!! 貴方は最低の人間です!!

ヌボ

イクッ

ア
グ
ッ

ゲ
ゲ
ゲ

ふうッ…!?!

あ…くッ…ま、まだ?! まだ続ける…の…??

んっ……ハア……ハア……

クツツ……!!

アキ

ま……た……

中で……

出す気……? ?

アキ

こんな……

コト……で……

女性が屈服する……

と……思ったら

大間違いですからあツ!!!

アツキ

アキ

アキ

アツキ

アキ

アキ

ア……ハアツ……ン……ン!?

ん
ん
ん
!!!?

!??!

ア…な……な…ん!?!…
…コレ…な……何……ツ?!
な、何かくる…!…?…?

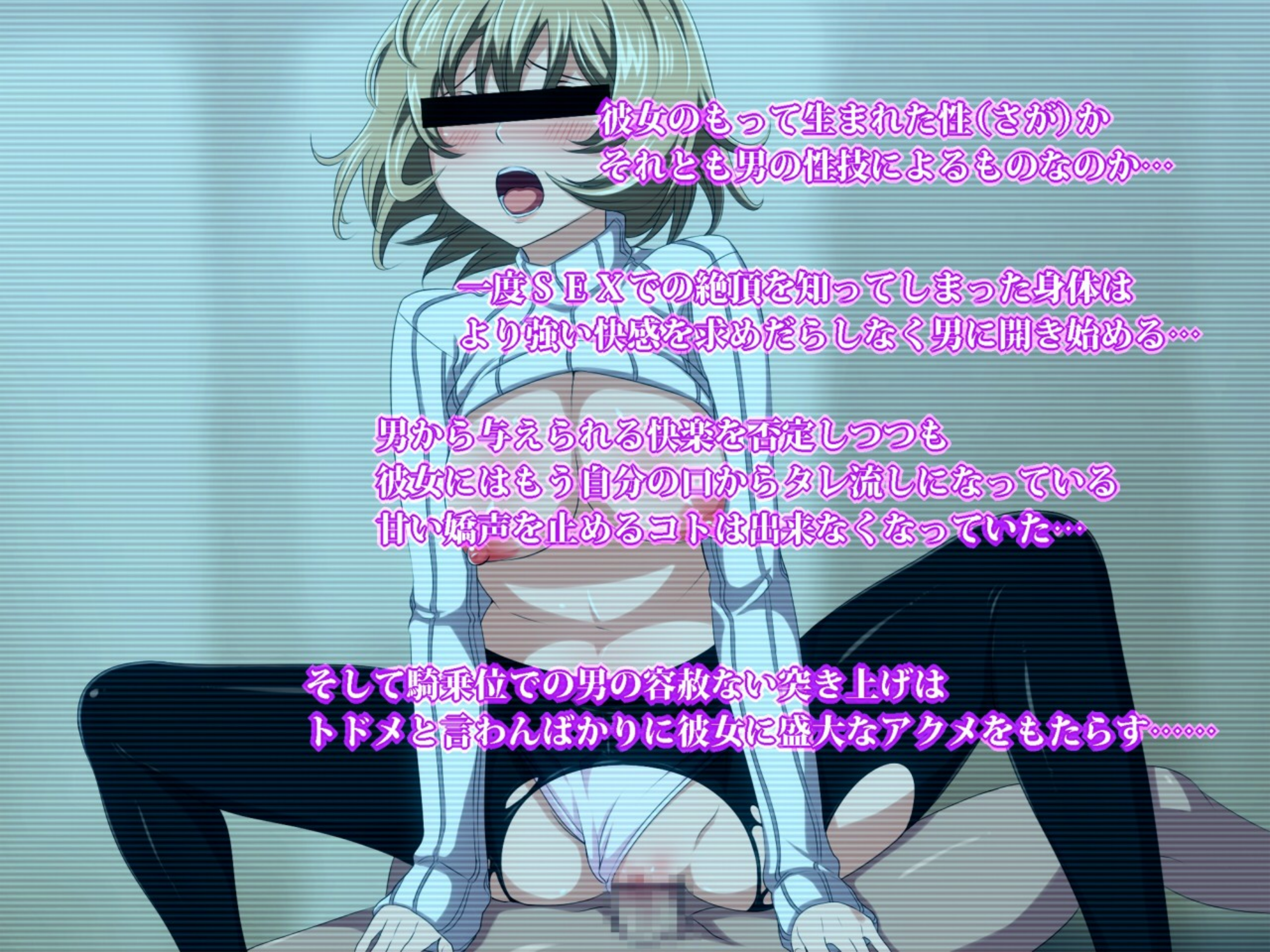
ク
ク
ク

ク
ク
ク

ク
ク
ク

ふあ
??!

あ?
え?
え??



彼女のもって生まれた性(さが)か
それとも男の性技によるものなのか…

一度SEXでの絶頂を知ってしまった身体は
より強い快感を求めだらしなく男に開き始める…

男から与えられる快楽を否定しつつも
彼女にはもう自分の口からタレ流しになっている
甘い嬌声を止めるコトは出来なくなっていた…

そして騎乗位での男の容赦ない突き上げは
トドメと言わんばかりに彼女に盛大なアクメをもたらす……

ひゃふっ♡……!!……

突かッ……ないで!!

そん……な……

深くッ突かれたらあッ……ああ♡

どうしてッ……?!……ン!

……くあ♡

変な声が……出ちゃ……ん

気持ち……イイ?

……!!?! そっ……そんな訳ないでしょ!!
気持ち良く……なんて……
なるッハズッ……ないです!

あッ……ああッ……はうッ

激しッ……止め……ひあッ♡

止めてッ……!何か来てる!?

中から……何か……??ひッ……あ♡

来るッ来ちやうう!!ヤメてええええッ!!!

ズ
チ
ユ

ズ
グ
グ

ズ
グ
グ
グ

ズ
グ
グ
グ

ズ
グ
グ
グ

ズ
グ
グ

ああああああああああああああ♡

あんツ……

はひツ……ハア……んくっ……
…ハアハア…

んふっ♡ はあ……ん♡



わら……ひ……
わた……ひ……

……どろろひ……

ひやっただ……の……

……ろろろ……





この嫌悪すべき状況で、忌み嫌う男に何度となく絶頂を
味わわされてしまったコトに彼女は戸惑う…

純愛を夢見るような初心な蒼樹さんは性に対して潔癖過ぎた……
強姦魔から与えられる快感をただの生理現象だなんて
割り切れるハズもなく……

それでもうわ言のように快楽を否定する言葉を必死につぶやく…
身体を汚されても心までは屈しないようにと…

だらしなく蕩けた表情で…自ら腰を振っている事にも気付かずに……

私は……

感じてなん……

て……ない……

……ん……ッ

あ……っん……あああ

……絶対に……違……う……

ひんっ……んあ♡……

だから……もう

終わりに……して

私っ……

感じてなんて！

ないのぉ！！



あんっ

あんっ

ん♡

あ♡ん♡

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

サイテーっ…ん
サイテーですうっ…

はあん♡

こんな…

きっ…気持ち悪い…

だけの…!

最低ッ!…!!

…ん…っはあ♡

ズン

ズン

ズン

ズン





この日最後の膣内射精を終える頃
蒼樹さんにはまともな理性と呼べるものは残っていなかった…

男にうながされるままに従順に…
尻を持ち上げ肛門と性器が丸出しのポーズをとる……

その滑稽な姿に疑問を抱けない程に意識を朦朧とさせたまま
男に注がれた大量のザーメンが溢れ出すマンコをカメラに向け
『記念撮影』に応じるのだった…

おし…お尻…？…

…こ、こ、こ…れす…か？

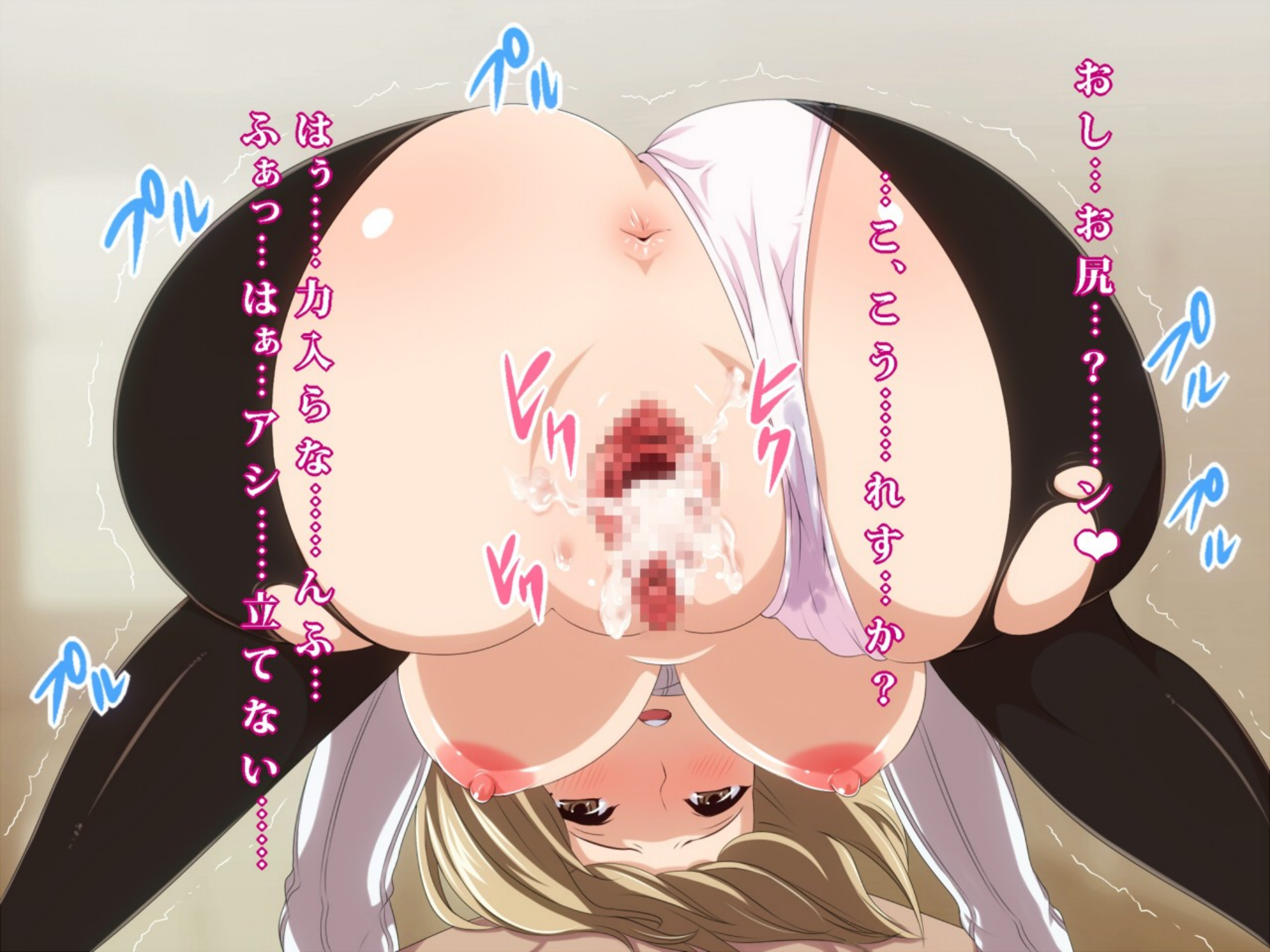
ほう…：か入らな…んふ…
ふあつ…はあ…アシ…立てない…

カ
カ

カ
カ

カ
カ
カ

カ
カ



ン〜ツ…んふ…フ…うっ

精…子っ…止まんない…

ふえ…?

「ぎーめん…」

まんこお？を…記念撮影…？」

ひ…うっ んはあああ…♡



蒼樹さんがレイプされたという悪夢のような事実…

記事を読み進めるほどに頭の芯は痺れ
息苦しいほどに心臓は動悸する…

これは…怒り？…喪失感？…それとも劣情だろうか…？
この形容し難い感情……それがなんなのかわからないまま……

俺は…俺はこの一部始終を見ながら自らのモノをしごき

そしてかつてない程のおびただしい量の精を吐いた…



…『アレ』で終わりではなかった
今も現在進行で彼女への陵辱は続いている…

……そうこれは『調教記録』なのだ……

一週間の間にすでに『調教記録』は3度更新されていた……
そこには弱味を握られ性奴隷へと
身をやつしていく蒼樹紅の姿が…

俺はモニターに映し出された光景に目を疑った

……あのクールでプライドが高かった蒼樹さんが
命じられるまま犬の様に四つん這いになって
下種野郎にアナルをさらけ出すなんて……

こんな格好で…
私に何をさせる気…
ですか…？

え…ケツツ…お、お尻の穴に!?

キュン

キュン

そんな…
私の事をどれだけ
貶めれば気が済むんです…

ドキ

ドキ

ふあああああッ……!!

だっ……ダメです!
コレ! 気持ち悪いの!!
は、早く抜いて下さい……!

キョウウウウ

ビクビクビク

排泄に使う不潔な
トコロでこんなコト……
オカシイ……
オカシイですよ……

……ウウウ……

見知った女性が複数人の男達に輪姦される姿は
想像以上にインパクトのあるものだった……

どこの馬の骨ともわからぬ輩が
前から後ろから好き放題に蒼樹さんを犯す様子に
自分でも意外なほどに動揺していた…

どうしてこんな事になってしまった？

どうして彼女はこの状況に甘んじている？

まさか蒼樹さんは…この男達に犯されるのを望んでいるのか…！？

ドス黒い感情の矛先を何処に向けてイイのかわからず激しくブレる…

そして彼女の表情から強い抵抗が感じられなくなっている事が
その疑念にさらなる拍車をかける……

んむ……ん

……ぐり……

ガガガ

はふッ……む

ッ
が
あ

ッ
ッ
ッ

ッ
ッ
ッ

ッ
ッ
ッ

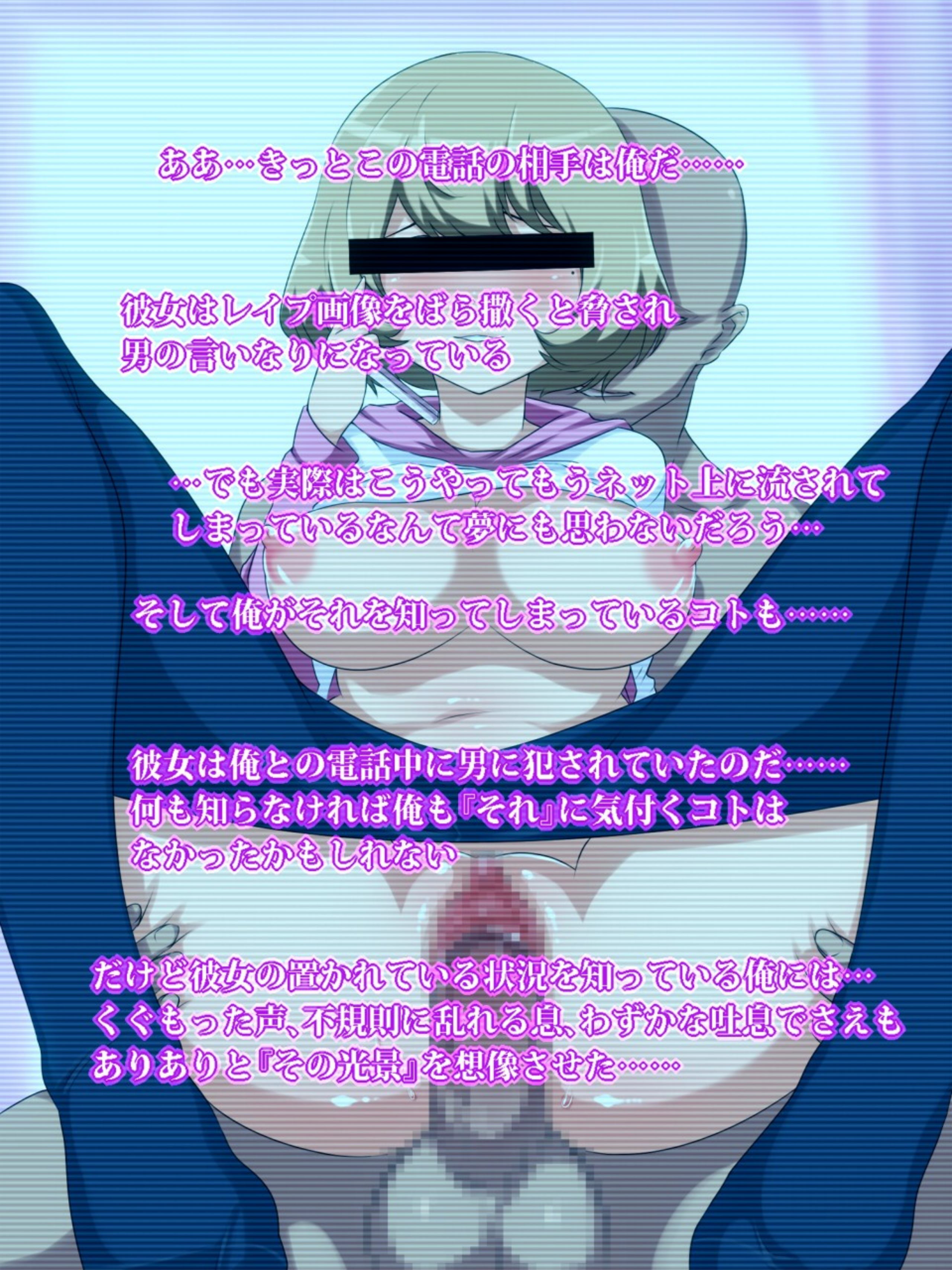
ッ
ッ
ッ

……ハッ……

……お、おしりら……

あっ……っ
ッ……

ん
が
ッ
ッ
ッ
!!
……ん
が



ああ…きつとこの電話の相手は俺だ……

彼女はレイプ画像をばら撒くと脅され
男の言いなりになっている

…でも実際はこうやってもうネット上に流されて
しまっているなんて夢にも思わないだろう…

そして俺がそれを知ってしまっているコトも……

彼女は俺との電話中に男に犯されていたのだ……
何も知らなければ俺も『それ』に気付くコトは
なかったかもしれない

だけど彼女の置かれている状況を知っている俺には…
くぐもった声、不規則に乱れる息、わずかな吐息でさえも
ありありと『その光景』を想像させた……



彼女はどんな気持ちで俺に電話したのだろうか……



ああ、きっと……

強要されて仕方なくやらされている事だ
俺に気付かれたくない一心で
健気に取りつくろっていたのだろう

……

心を痛め、泣いていたかもしれない……

…そう信じたかった…



しかしこの写真を見た時に
芽生えた感情は……

強烈な喪失感と彼女に対する
言い知れぬ怒りだった……

なぜなら俺との電話越しに
犯される彼女の口元は

まるでこの状況を楽しむかのように
淫靡に歪んでいたのだから……

◇◇◇◇◇
ンツ◇◇◇◇◇

えっ?! あ◇◇◇◇◇

な、何でもありません◇◇◇◇◇

ハア◇◇◇◇◇ん

少し◇◇◇◇◇その◇◇◇◇◇

体調が、悪いの◇◇◇◇◇かも◇◇◇◇◇

◇◇◇◇◇は◇◇◇◇◇い◇◇◇◇◇

ハイ◇◇◇◇◇でも大丈夫です◇◇◇◇◇からっ

ツ!! ツン◇◇◇◇◇
♡

アアッ
◇◇◇◇◇



!!!

……んんん……!!

……んんん……♡……

は……ふあい……

ほ……本当に……大丈夫れすから……

ハイ、

心配しないでください……高木さん





エロ下着を着用し夢中でペニスにしゃぶりつく女……

その表情はどこか恍惚としていて、嫌がる素振りもなく

慣れた手付きで男達のペニスに奉仕する

幾度となく繰り返された調教の賜物か……

そこにいるのはまぎれもなく心からSEXを楽しむ一人の牝だ……

これがあの蒼樹さん……なのか……？

信じたくはない……あまりにも受け入れ難い事実だ……

しかしこの写真の女性が蒼樹さんだということとは

憶測ではなく……すでに確信だった……

そしてその確信が、俺の中で逆巻いていたあのやり場のない……

……形容し難い暗い感情の渦を……一つの明確なカタチにしていく……

んむ…チュ♡
トマツ

はむう…ん♡

トマツ
トマツ

トマツ

イク
イク

和

イク
和

和

レロ

チンポをこんなにしちやつて…
仕方のない人達ですね♡

私のお口マンコ気持ちイイですか？

んぶツ…チュバツ…
クチュ…

美味…し♡

ん……はぁ♡

いっぱい……出ましたね♡

……んぐっ……ゴク……

ん……酷い味……

え？

まだ出し足りないんですか？

キエニ♡

……もう

本当に仕方のない人達なんだから♡

ト


ト

オ

オ

♡ん♡





すでに何度となく変態的な
プレイを強要された彼女でも
いつもと違う趣向に恥らい…
いつも以上に興奮しているようだ

それは俺にとっても同じで、
普段と違う雰囲気彼女の妖艶さに
股間は限界まで怒張っていた…

スーツ姿の蒼樹さんは何度も俺が
妄想のネタにした“女教師”姿そのまま
それでいて妄想の時とは比べものに
ならない程、扇情的だった

彼女はクリトリスを弄りながら男を誘う…

誰にやらされた訳でもなく…自らの意思で…

あの…この格好は…？

好きな人はどうですか？
うのが

スーツを着ただけなのに…
よいつもより興奮している

ン…♡

オチンポも
スゴイことになってます♡

あ……ヤダ……

そんななに……

ニオイを嗅がないでください……！

……蒸れてニオイがキツいって……

そ、それは下着をつけたまま
オナニーなんてさせるから……

いマア

ムン
ムン
ムン



あふ……おひんぽお……

入れて……
くれないんですか？

ノ
ロ

こんなに焦らされて……
もうオマンコ我慢出来なくな
ってるのに……



んあッ…!?

そ、そっちぢや…

や…

あ…ん…



ッ
ッ

ッ
ッ

ッ
ッ

また…ッ♡

お預け…ですか?

ッ
ッ
ッ
ッ
ッ
ッ
ッ
ッ

んあああッ…イクッ!!

イキますっ

お尻でイッちやう!!

あぐッ…あ…♡

イッ…ク…ツツ…!!!



.....っん

あふうっ...

ヤケドっ...しちやいますう...♡

お尻...メチャクチャにされて...

...熱い...♡

グッ
グッ
グッ
グッ



SEX漬けにされチンポ好きに
馴けられた蒼樹さんは

早くマンコにハマて欲しくて
自分からパイズリフェラを始める

胸も口もアナルもマンコも…
彼女の身体は隅々まで犯され
奴等の色に染められてしまったのだ

……それでも彼女は…
俺の前では以前となんら変わらない……

そして俺もまたそんな彼女と
今まで通りに接する……

心の内に一抹の狂気をはらみながら……

ん〜
早くう

オチンポください

チヨリ

ン
この
オチンポ……
私の処女を奪って……
エッチな身体に作り変えちゃった
この悪いオチンポを……♡

ン……

この

オチンポ……

私の処女を奪って……

エッチな身体に作り変えちゃった

この悪いオチンポを……♡

んぶっん♡

んぶっん♡

んぶっん♡

んぶっん♡

んぶっん♡

あむんちゅ...

ハア

んぶっん♡

んぶっん♡

んぶっん♡

んぶっん♡

んぶっん♡

んぶっん♡

んぶっん♡

んぶっん♡



んふ♡

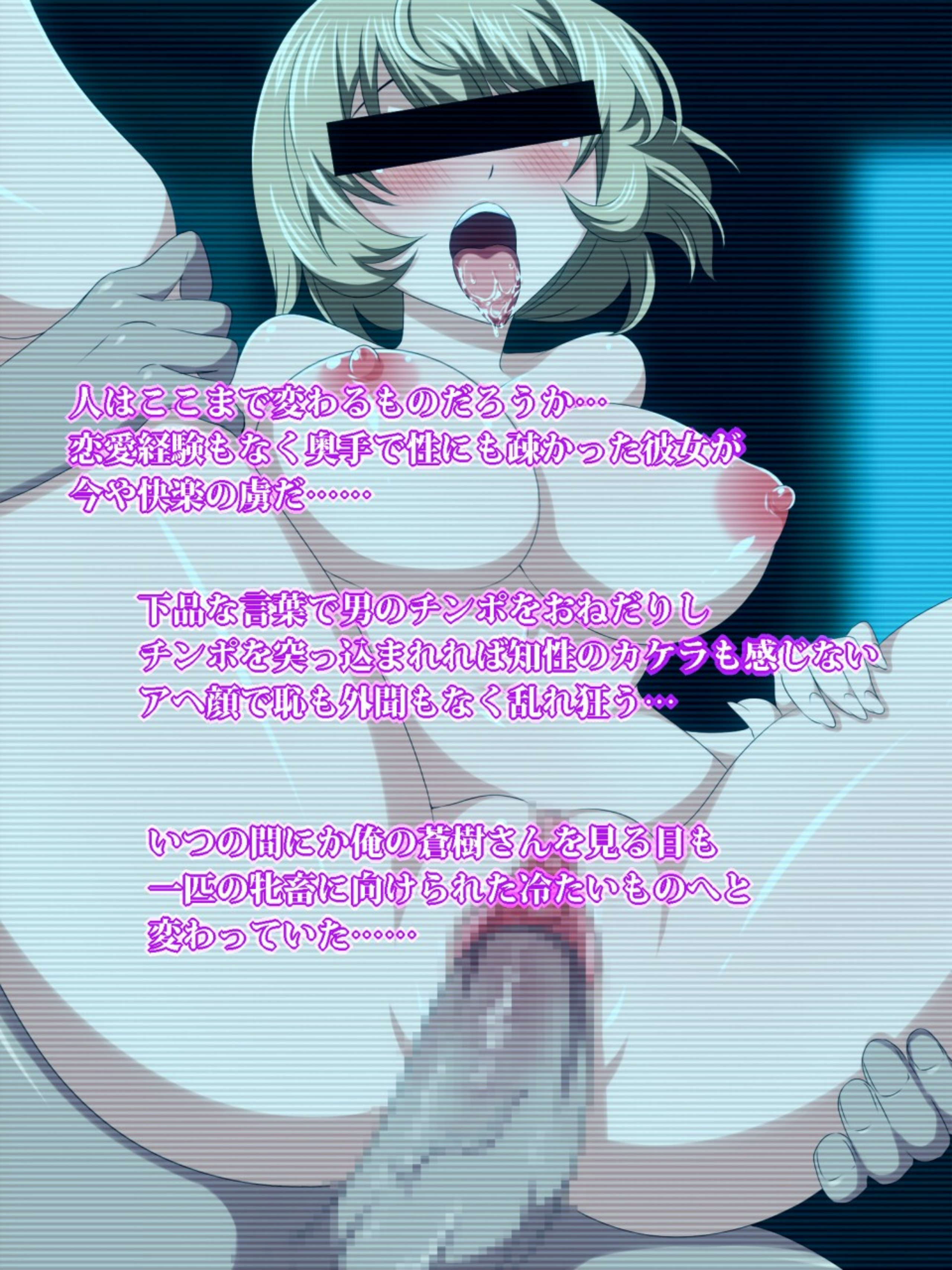
まだまだ元気ですね

ドロリ

キキキ

トロロ...

今度のオマコ
はチンポを
こすり込んで
お風呂に入
るのよ♡



人はここまで変わるものだろうか…
恋愛経験もなく奥手で性にも疎かった彼女が
今や快樂の虜だ……

下品な言葉で男のチンポをおねだりし
チンポを突っ込まれれば知性のカケラも感じない
アへ顔で恥も外聞もなく乱れ狂う…

いつの間にか俺の蒼樹さんを見る目も
一匹の牝畜に向けられた冷たいものへと
変わっていた……

はぁん♡

コレえっ！

このオチンポ！！

気持ちイイッ…です♡

あ
あぁっ…

入れたただけでイッちやつてる

私イっちやつてますっ♡

オマンコアクメしてるぅ♡

ズボ

マッマッ

あひい♡

アッ

アッ

しゅ…

しゅ…♡

これ…

しゅ…♡

アッ

あっ

アッ♡

しゅき!

だいしゅき!

ちんぽちんぽ♡

ちんぽお♡

グ

アッ

グ

アッ

グ

アッ

グ

アッ



もはや完全に堕ちた彼女はどんな恥ずかしい命令にも従順に従う
それが人前での放尿であろうと…だ

カメラを向けられ一瞬の逡巡を見せるが
その逡巡すら男の劣情を誘うための媚態ではないかと思える

ピンピンに勃起したクリトリスが
彼女が見られて感じるマゾ女だということを物語っていた……

やあ……ん♡

こんな格好……うん？
今、オシッコするんですか？

かわいい♡

んん……急にそんな……

んあつ

出……る

……ん……へ……

み……見てください……！

カッパッパ……

カッパッ

私のオシッコする姿を
見てください！！

ふあつ

あああつ……！



出まし…た♡

ふうあ♡
ん…んふう♡

…んあ♡
あああ♡

あふあふあふ



今日もまた『調教記録』が更新される……

蒼樹さんはもう男のチンポ無しでは生きていけない
SEX依存の浅ましい牝犬でしかない…

…だけど…散々辱められ、人生を狂わされた彼女も
もうすぐこの男達に捨てられるだろう……

……コイツ等は蒼樹さんに飽き始めているのだ…

でも俺はその事に何も感じてはいなかった

それどころか彼女や男達に対する憤りすら
感じなくなっていた……

うあつ?!

ど、どうしたんですか…!?

今日は随分と乱暴です…ね?

モニユ

ムニョ

痛ッ…あ……

そんなに無理矢理しなくても
ちやんとご奉仕するっ…のに…

んん…くっ…

ヤッ……アッ……

なんでっ?!

グニャッ

グニャッ

グニャッ

グニャッ

グニャッ

グニャッ

グニャッ

そんなに……
乱暴にされたらっ

初めて……の……
レイプ……された……時のこと……
思い……出しちゃって……私……

ン……

ン……ッ!!

……これが最後だ……

男達に囲まれアへ顔ダブルピースで
精液まみれにされる彼女を見た時
心の奥底で…完全に何か壊れる音がした……

感情の歯車は狂い、あらゆる方向へと回りだそうとしている
だがそれがどうした？

『ソレ』を止めるものなど…もはや俺の中に残ってはいない

むしろこれからのコトを思うと自然と顔に笑みが張り付いた

惨めったらしい気持ちでこのサイトを見て
自分を慰めるのも今日が最後になるだろう

俺は新たに芽生えた興奮に全身を支配されていくのを感じた……

フフ…

今日もたくさん
出してもくたれ
ましたね

あん……

見えますか？

オマンコからも
精液が溢れちゃっ
てます



キヤツ!?

あ……フフフ♡

まだ精子出し
たりないんですか？

まだ出したりなくて

こんな変態ポーズを
とっている私に

赤ちゃん汁ぶっかけて
しまうんですか？



人の心は存外簡単に壊れるのかもしれない…

いや、壊れる…というよりも、まったくの別物に変貌する…
と言った方がいいだろうか…

後生大事に培ってきた倫理観やモラルがスイッチ一つで
ガラクタと化し価値観が反転する……

なるほど、蒼樹さんもこんな風に堕ちていったのだろうか…？

モニターに盛大に精液をぶち撒けながら
愉快で堪らず声を上げて笑った

今の俺はたいそう下卑た貌をしているんだらうな

——もうすぐココへ蒼樹さんがやって来るだろう……

俺は彼女を罠にはめ犯す為にこの部屋へと呼び出した

「まずは蒼樹紅だ……

次は岩瀬…そして小豆と香耶を墮とす……それから…」

シナリオはもう完成している…

後は……実行するか、否かだ……